

専門分野 成人看護学		科目名：成人看護学概論	講師：専任教員	1単位 30時間 (1年次後期)
学習目標		1. 成人期における対象の特徴を理解する。 2. 成人期における対象への看護の機能・役割について理解する。 3. 成人期における保健活動の意義、健康の保持増進を図る援助を理解する。 4. 健康障害時の健康レベルに応じた看護方法を理解する。		
回数	主題	主な学習内容		授業形態
1	成人期における看護の理解	1) 青年期の成長と発達課題の特徴 2) 壮年期・中年期の成長と発達課題の特徴		講義 グループワーク
2	1. 成人各期における特徴	1) グループワーク発表		グループワーク
3	2. 成人の生活と健康	1) 生活の視点からみた成人の健康 2) 成人の健康観 3) 健康教育 (1) セルフマネージメント、ペタゴジー、アンドラゴジー、エンパワーメントエデュケーション		講義
4	3. 健康を阻害する生活行動要因	1) 健康を阻害する生活行動要因 (1) 健康な生活の保持・増進への看護 ①生活習慣病予防 ②ストレス ③職業に関連する健康障害 (2) 健康診断の重要性と健康生活保持のための指導 (3) 健康増進・疾病予防に伴う施策や取り組み		グループワーク
5		1) グループワーク発表		グループワーク
6	4. 看護の対象・看護の視点	1) 主体的な健康行動の促進 2) 健康生活を支援する環境づくり 3) 看護の場 4) 主な活動内容		講義
7	5. 成人の特性や能力に応じた看護の目的	1) 自立した存在を尊重したアプローチ 2) 独自の考えや行動パターンを尊重したアプローチ 3) 家庭・社会で役割を担う存在を尊重したアプローチ		講義
8	健康レベル(経過別)に応じた看護 6. 急性期看護とは	1) 健康レベルとは 2) 急性期看護とは (1) 急性期の概念および看護の概要 (2) 生命の危機状態 (3) 急激な健康破綻をきたした人の看護 (4) 健康状態が急速に変化する対象の身体的・心理的・社会的特徴 (5) 早期回復に向けての援助(酸素化促進、消化管機能維持、体液の改善)		講義
9	7. 回復期看護とは	1) 回復期の概念および看護の概要 2) リハビリテーションの概念および看護の概要 3) 社会復帰に向けた看護の概要		講義
10	8. 慢性期看護とは	1) 慢性期の概念および看護の概要 (1) 慢性期の健康状態とは (2) 慢性的経過をたどる対象の身体的・精神的・社会的特徴 (3) セルフコントロールへの援助 (4) 慢性期の寛解と増悪		講義

11	9. 終末期看護とは	1) 終末期の概念および看護の概要 (1) 終末期にある対象の身体的・精神的・社会的影響と苦痛 (2) 苦痛のアセスメント (3) 疼痛コントロール (4) QOL の保証	講義
12	10. 終末期看護とは	(5) グリーフケア・悲嘆へのケア (6) デスカンファレンス (7) 看取りの場 (緩和ケア病棟、在宅) (8) 臨終時の看護 (死後の処置を含む)	講義
13	症状マネジメントに向けた支援	1) 手術療法時の看護 2) 薬物療法時の看護	講義
14	11. 治療と看護	3) 放射線療法時の看護 4) 食事療法時の看護	講義
15	終講試験	筆記試験・まとめ	試験
履修上の留意点		1. 常にテキストは 持参する事 グループワークは IT、シミュレーターを活用する	
1) テキスト 2) 参考書		1) 系統看護学講座 専門分野 成人看護学総論 成人看護学① 医学書院 2) 国民衛生の動向 一般財団法人 厚生労働統計協会	
評価方法		1. 筆記試験	

専門分野 成人看護学	科目名：運動機能に障害のある成人の看護	講師：臨床看護師 臨床看護師 臨床看護師 臨床看護師 臨床看護師 臨床看護師	1単位 30時間 (2年次前期)
学習目標	1. 運動機能に障害をもつ成人とその家族への看護が理解できる。 2. 認知機能・コミュニケーション障害をもつ成人とその家族への看護が理解できる。 3. 感覚機能障害をもつ成人とその家族への看護が理解できる。		
回数	主題	主な学習内容	授業形態
1	1. 運動機能障害を持つ患者の看護	1) 関節リウマチ (1) 観察とアセスメント (2) 症状に対する看護 (3) 検査を受ける患者の看護 (4) 保存療法を受ける患者の看護	講義
2		2) 椎間板ヘルニア 3) 脊柱管狭窄症 (1) 観察とアセスメント (2) 症状に対する看護 (3) 検査を受ける患者の看護 (4) 保存療法を受ける患者の看護 (5) 手術を受ける患者の看護	講義
3		4) 脊髄損傷 5) 頸髄損傷 (1) 観察とアセスメント (2) 症状に対する看護 (3) 検査を受ける患者の看護 (4) 保存療法を受ける患者の看護 (5) 手術を受ける患者の看護	講義
4		6) 変形性膝関節症 7) 変形性股関節症 (1) 観察とアセスメント (2) 症状に対する看護 (3) 検査を受ける患者の看護 (4) 保存療法を受ける患者の看護 (5) 手術を受ける患者の看護	講義
5		8) 外傷性骨折 (1) 観察とアセスメント (2) 症状に対する看護 (3) 検査を受ける患者の看護 (4) 保存療法を受ける患者の看護 (5) 手術を受ける患者の看護	
6	2. 機構が担う特徴ある運動器に障害のある患者の看護	1) 重症心身障害者の看護 2) 筋ジストロフィー症患者の看護 3) 筋萎縮性側索硬化症患者の看護	講義
7	3. 認知・コミュニケーション障害をもつ患者の看護	1) 脳卒中 (1) 観察とアセスメント (2) 症状に対する看護 (3) 検査を受ける患者の看護 (4) 保存療法を受ける患者の看護 (5) 手術を受ける患者の看護	講義
8		2) 脳腫瘍 (1) 観察とアセスメント (2) 症状に対する看護 (3) 検査を受ける患者の看護 (4) 保存療法を受ける患者の看護 (5) 手術を受ける患者の看護	講義
9		3) 頭部外傷 (1) 観察とアセスメント (2) 症状に対する看護 (3) 検査を受ける患者の看護 (4) 保存療法を受ける患者の看護 (5) 手術を受ける患者の看護	講義
10		4) 脳炎・髄膜炎 (1) 観察とアセスメント (2) 症状に対する看護 (3) 検査を受ける患者の看護 (4) 保存療法を受ける患者の看護 (5) 手術を受ける患者の看護	講義

11	4. 感覚機能障害を持つ患者の看護	1) 視覚障害 (白内障・緑内障) (1) 観察とアセスメント (2) 症状に対する看護 (3) 検査を受ける患者の看護 (4) 保存療法を受ける患者の看護 (5) 手術を受ける患者の看護	講義
12		2) 聴覚障害 (中耳・内耳疾患) (1) 観察とアセスメント (2) 症状に対する看護 (3) 検査を受ける患者の看護 (4) 保存療法を受ける患者の看護 (5) 手術を受ける患者の看護	講義
13		3) 嗅覚障害 (副鼻腔炎)、味覚障害 (1) 観察とアセスメント (2) 症状に対する看護 (3) 検査を受ける患者の看護 (4) 保存療法を受ける患者の看護 (5) 手術を受ける患者の看護	講義
14	5. 症状マネージメントに向けた支援	1) 患者・家族への支援	講義
15	終講試験	筆記試験	試験
履修上の留意点		1) 常にテキストは、成人看護学〔10〕運動器 成人看護学〔7〕脳・神経 2) 配布資料は全て持参 学習形態はその都度指示	
1) テキスト 2) 参考書		1) 系統看護学講座 成人看護学〔7〕脳・神経〔10〕運動器〔13〕眼 医学書院 系統看護学講座 専門分野 成人看護学〔14〕耳鼻咽喉頭 医学書院	
評価方法		1. 筆記試験	

専門分野 成人看護学	科目名：生命維持機能に障害のある成人の看護	講師：臨床看護師 臨床看護師 臨床看護師 臨床看護師 臨床看護師	1 単位 30 時間 (2 年次前期)
学習目標	1. 循環器系に障害をもつ成人及びその家族への看護が理解できる 2. 呼吸器系に障害をもつ成人およびその家族への看護が理解できる 3. 血液・造血器系に障害をもつ成人およびその家族への看護が理解できる		
回数	主題	主な学習内容	授業形態
1	1. 循環機能障害を持つ患者の看護	1) 虚血性心疾患 (1) 観察とアセスメント (2) 症状に対する看護 (3) 検査を受ける患者の看護 (4) 治療・処置を受ける患者の看護 (5) 疾患を持つ患者の看護 ・開心術を受ける患者の看護	講義
2		2) 不整脈 (1) 観察とアセスメント (2) 症状に対する看護 (3) 検査を受ける患者の看護 (4) 治療・処置を受ける患者の看護 (5) 疾患を持つ患者の看護	講義
3		3) 心不全 (1) 観察とアセスメント (2) 症状に対する看護 (3) 検査を受ける患者の看護 (4) 治療・処置を受ける患者の看護 (5) 疾患を持つ患者の看護	講義
4		4) 弁膜症 (1) 観察とアセスメント (2) 症状に対する看護 (3) 検査を受ける患者の看護 (4) 治療・処置を受ける患者の看護 (5) 疾患を持つ患者の看護 ・開心術を受ける患者の看護	講義
5		5) 動脈系疾患と静脈系疾患 (1) 観察とアセスメント (2) 症状に対する看護 (3) 検査を受ける患者の看護 (4) 治療・処置を受ける患者の看護 (5) 疾患を持つ患者の看護	講義
6	2. 呼吸機能障害を持つ患者の看護	1) 腫瘍性肺疾患 (肺がん) (1) 観察とアセスメント (2) 症状に対する看護 (3) 検査を受ける患者の看護 (4) 治療・処置を受ける患者の看護 (5) 疾患を持つ患者の看護	講義
7		2) 拘束性肺疾患 (間質性肺炎・肺線維症) (1) 観察とアセスメント (2) 症状に対する看護 (3) 検査を受ける患者の看護 (4) 治療・処置を受ける患者の看護 (5) 疾患を持つ患者の看護	講義
8		3) 慢性閉塞性疾患 (COPD) (1) 観察とアセスメント (2) 症状に対する看護 (3) 検査を受ける患者の看護 (4) 治療・処置を受ける患者の看護 (5) 疾患を持つ患者の看護	講義

9		4) アレルギー性肺疾患 (気管支喘息・薬剤耐性肺炎) (1) 観察とアセスメント (2) 症状に対する看護 (3) 検査を受ける患者の看護 (4) 治療・処置を受ける患者の看護 (5) 疾患を持つ患者の看護	講義
10		5) 肺血管性病変 (肺血栓塞栓症・肺水腫) (1) 観察とアセスメント (2) 症状に対する看護 (3) 検査を受ける患者の看護 (4) 治療・処置を受ける患者の看護 (5) 疾患を持つ患者の看護	講義
11	3. 血液・造血機能障害患者の看護	1) 白血病、悪性リンパ腫 (1) 観察とアセスメント (2) 症状に対する看護 (3) 疾患を持つ患者の看護	講義
12	4. 早期回復に向けての援助	1) 酸素化促進 2) 消化管機能維持 3) 体液の改善	講義
13	5. 終末期にある対象の身体的・精神的・社会的影響と苦痛	1) 緩和ケアを必要とする患者と家族への看護 2) エンド・オブ・ライフ・ケア<end-of-life-care> 3) 臨死期の看護	講義
14	6. 意識障害のある患者の看護	1) 観察とアセスメント 2) 生命の危機に対する援助 3) 機能障害に対する援助 4) 合併症の予防と身体の安全	講義
15	終講試験	筆記試験・まとめ	試験
履修上の留意点		1. 常に持参のテキストは持参 2. 配布資料はすべて持参 3. 学習形態はその都度指示	
1) テキスト 2) 参考書		1) 系統看護学講座 成人看護学〔2〕呼吸器、〔3〕循環器、〔4〕血液・造血器 医学書院	
評価方法		1. 筆記試験	

専門分野 成人看護学	科目名：消化機能・代謝機能 に障害のある成人の看護	講師：臨床看護師 臨床看護師 臨床看護師 臨床看護師 臨床看護師	1 単位 30 時間 (2 年次前期)
学習目標	1. 栄養摂取・消化・吸収・排泄機能に障害を持つ成人とその家族への看護が理解できる 2. 代謝機能に障害を持つ成人とその家族への看護が理解できる 3. 内分泌機能に障害を持つ成人とその家族への看護が理解できる		
回数	主題	主な学習内容	授業形態
1	1. 消化器系に 障害をもつ患者 の看護	1) 食道がん (1) 観察とアセスメント (2) 症状に対する看護 (3) 検査を受ける患者の看護 (4) 治療・処置を受ける患者の看護 ①消化器の手術を受ける患者の看護 ②合併症予防：呼吸器合併症 血栓塞栓症、 術後イレウス、せん妄	講義
2		2) 胃がん (1) 観察とアセスメント (2) 症状に対する看護 (3) 検査を受ける患者の看護 (4) 治療・処置を受ける患者の看護 ①消化器の手術を受ける患者の看護 ②合併症予防：呼吸器合併症 血栓塞栓症、 術後イレウス、せん妄	講義
3		3) 大腸がん (1) 観察とアセスメント (2) 症状に対する看護 (3) 検査を受ける患者の看護 (4) 治療・処置を受ける患者の看護 ①消化器の手術を受ける患者の看護 ②合併症予防：呼吸器合併症 血栓塞栓症、 術後イレウス、せん妄	講義
4		4) 肝臓疾患 (肝炎・肝硬変・肝不全・肝がん) (1) 観察とアセスメント (2) 症状に対する看護 (3) 検査を受ける患者の看護 (4) 治療・処置を受ける患者の看護	講義
5		5) 胆嚢疾患 (胆嚢炎・胆管炎) (1) 観察とアセスメント (2) 症状に対する看護 (3) 検査を受ける患者の看護 (4) 治療・処置を受ける患者の看護	講義
6		6) 膵臓疾患 (膵炎・膵臓がん) (1) 観察とアセスメント (2) 症状に対する看護 (3) 検査を受ける患者の看護 (4) 治療・処置を受ける患者の看護	講義
7		7) 腸・腹膜疾患 (ヘルニア・イレウス・ポリープ) (1) 観察とアセスメント (2) 症状に対する看護 (3) 検査を受ける患者の看護 (4) 治療・処置を受ける患者の看護	講義

8		8) 急性腹症と腹部外傷 (1) 観察とアセスメント (2) 症状に対する看護 (3) 検査を受ける患者の看護 (4) 治療・処置を受ける患者の看護	講義
9	2. 代謝性機能障害患者の看護	1) 代謝機能障害 (尿酸と脂質) (1) 観察とアセスメント (2) 代謝機能障害患者の看護 ①生活指導を中心とした看護	講義
10		2) 糖尿病 (1) 観察とアセスメント (2) 症状に対する看護 (3) 代謝機能障害患者の看護 ①生活指導を中心とした看護	講義
11			
12	3. 内分泌障害患者の看護	1) 甲状腺機能障害 (甲状腺機能亢進症・甲状腺機能低下症) (1) 観察とアセスメント (2) 内分泌機能障害患者の看護	講義
13		2) 副腎機能障害 (1) 観察とアセスメント (2) 内分泌機能障害患者の看護	講義
14		3) 下垂体機能障害 (1) 観察とアセスメント (2) 内分泌機能障害患者の看護	講義
15	終講試験	筆記試験	試験
履修上の留意点		1. 常に持参のテキストは持参 2. 学習形態はその都度指示	
1) テキスト 2) 参考書		1) 系統看護学講座 成人看護学 [5] 消化器、[6] 内分泌・代謝 医学書院	
評価方法		1. 筆記試験	

専門分野 成人看護学		科目名：排泄、生殖機能、免疫 機能に障害のある成人の看護	講師：臨床看護師 臨床看護師 臨床看護師 臨床看護師	1単位 30時間 (2年次前期)
学習目標		1. 腎・泌尿器系に障害を持つ成人とその家族への看護が理解できる 2. 女性生殖器系に障害を持つ成人とその家族への看護が理解できる 3. 膠原病を持つ成人とその家族への看護が理解できる 4. 感染症を持つ成人とその家族への看護が理解できる		
回数	主題	主な学習内容		授業形態
1	1. 腎・泌尿器系 に障害をもつ患 者の看護	1) 急性・慢性腎不全 (1) 観察とアセスメント (2) 症状に対する患者の看護 (3) 検査を受ける患者の看護 (4) 治療・処置を受ける患者の看護 ・血液透析を受ける患者の看護 ・移植を受ける患者の看護		講義
2				
3		2) 膀胱がん (1) 観察とアセスメント (2) 症状に対する患者の看護 (3) 検査を受ける患者の看護 (4) 治療・処置を受ける患者の看護		講義
4		3) 尿路結石および腎臓の奇形 (1) 観察とアセスメント (2) 症状に対する患者の看護 (3) 検査を受ける患者の看護 (4) 治療・処置を受ける患者の看護		
5	2. 女性生殖器系 に障害をもつ 患者の看護	1) 乳がん (1) 観察とアセスメント (2) 診療の介助 (3) 検査を受ける患者の看護 (4) 治療・処置を受ける患者の看護 ・手術を受ける患者の看護		講義
6		2) 子宮筋腫・卵巣嚢腫 (1) 観察とアセスメント (2) 診療の介助 (3) 検査を受ける患者の看護 (4) 治療・処置を受ける患者の看護		
7		3) 子宮体癌 (1) 観察とアセスメント (2) 診療の介助 (3) 検査を受ける患者の看護 (4) 治療・処置を受ける患者の看護 ・手術を受ける患者の看護		
8	3. アレルギー 疾患患者の看護	1) アレルギー (1) 観察とアセスメント (2) 症状に対する患者の看護 (3) 検査を受ける患者の看護 (4) 治療を受ける患者の看護 (5) 生活指導		講義
9				
10	4. 膠原病疾患患 者の看護	1) リウマチ (1) 観察とアセスメント (2) 症状に対する患者の看護 (3) 治療を受ける患者の看護		講義
11		2) 全身性エリトマトーデス (1) 観察とアセスメント (2) 症状に対する患者の看護 (3) 治療を受ける患者の看護		

12	5. 感染症患者の看護	1) 法定伝染病 (1) 観察とアセスメント (2) 症状に対する患者の看護 (3) 治療を受ける患者の看護 (4) 感染防御	講義
13		2) 性感染症 (1) 観察とアセスメント (2) 症状に対する患者の看護 (3) 治療を受ける患者の看護 (4) 感染防御	講義
14		3) 薬剤耐性の感染症 (1) 観察とアセスメント (2) 症状に対する患者の看護 (3) 治療を受ける患者の看護 (4) 感染防御	講義
15	終講試験	筆記試験、まとめ	試験
履修上の留意点		1. 常に持参のテキストは「腎・泌尿器」、「女性生殖器」、 「アレルギー、膠原病、感染症」 2. 配付資料はすべて持参 3. 学習形態はその都度指示	
1) テキスト 2) 参考書		1) 系統看護学講座 成人看護学 [8] 腎・泌尿器 [9] 女性生殖器 [11] アレルギー膠原病感染症	
評価方法		1. 筆記試験	

専門分野 成人看護学	科目名：成人看護学演習	講師： 専任教員	1 単位 30 時間 (2 年次後期)
学習目標	1. 成人期を対象とした看護過程展開ができる。 2. 成人期の看護に必要な看護技術を習得する。		
回数	主題	主な学習内容	授業形態
1	1. 看護過程展開	1) 手術を受ける胃癌患者の看護（急性期・回復期・退院指導を含む） （1）周術期看護とは ①手術療法と患者の身体的、心理的反応 ・手術による身体の反応 ・体位の影響 ・術式の影響 （2）集中治療と看護 ① 術後看護：術後合併症の発生機序と種類 ② 術後看護：起こりやすい合併症の予防と看護 ③ 術後看護：リハビリテーションと生活復帰のための看護	講義
2		2) 胃癌の病態生理 3) 手術による身体の反応 4) 体位の影響（術式の影響、術後合併症の起こりやすい時期、予防、看護）	講義 個人ワーク
3		5) 看護過程展開の実際 事例紹介 情報の整理、アセスメント、病態関連図作成	講義
4		5) 看護過程展開の実際 事例紹介 情報の整理、アセスメント、病態関連図作成	演習 グループワーク
5		5) 看護過程展開の実際 事例紹介 情報の整理、アセスメント、病態関連図作成	演習
6		6) グループワーク発表 （1）グループごとアセスメントを発表 （2）看護問題の明確化、看護計画立案、発表 （3）意見交換	演習
7		7) 演習(援助の実際・場面ごとの判断) 場面 手術直後の看護の実際	講義
8		8) 演習(援助の実際・場面ごとの判断) 場面 離床の実際	講義 グループワーク
9	2. 指導技術 (個別)	1) 意思決定支援 （1）パンフレットによる周術期支援 ①手術オリエンテーションのパンフレット作成 ②退院指導についてのパンフレット作成	講義 グループワーク
10		（2）パンフレットによる周術期支援 ①グループワーク発表	講義 グループワーク
11	3. 救命救急	1) 救命救急の看護 （1）緊急度と重症度のアセスメント （2）心肺停止状態への処置 （3）ショックへの処置 （4）急性症状の応急処置	講義

12		(5) 外傷・熱傷・中毒の応急処置 (6) 環境要因による障害の応急処置 (7) 感染症への処置	講義
13		2) 気道確保(挿管)・人工呼吸 3) 気管内吸引	講義
14		4) 意識レベルの見方の実際 5) 心臓マッサージ・AED	講義 演習
15	終講試験	筆記試験・まとめ	試験
履修上の留意点		基礎疾患・手術適応疾患については、解剖、病態生理、検査、治療、看護を事前にテキスト等で復習しておくこと。課題レポートについては、授業の中で提示する。提出期限を厳守すること。グループワークはIT活用、シミュレーター使用	
1) テキスト 2) 参考書		1) 周術期看護 学習ワークブック メヂカルフレンド社 新体系 看護学全書 経過別成人看護学①「周術期看護」メヂカルフレンド社 高木永子監修 看護過程に沿った対症看護 病態生理と看護のポイント 学研 2) 系統看護学講座 専門分野 基礎看護技術Ⅱ 基礎看護学2 医学書院	
評価方法		1. 課題レポート 2. 筆記試験	